



**2013年度（平成26年3月期）  
決算説明資料**

**2014年5月9日  
塩野義製薬株式会社**



# 2013年度 決算の概要

（単位：億円）

	2013年度 通期予想※	2013年度 実績	対予想		2012年度 実績	対前年	
			達成率 (%)	差異		UP率 (%)	増減額
売上高	2,848	2,897	101.7	49	2,829	2.4	68
営業利益	620	636	102.5	16	596	6.7	40
経常利益	610	639	104.8	29	589	8.5	50
当期純利益	430	418	97.3	△12	667	△37.3	△249

● 営業利益および経常利益は、通期実績として過去最高益

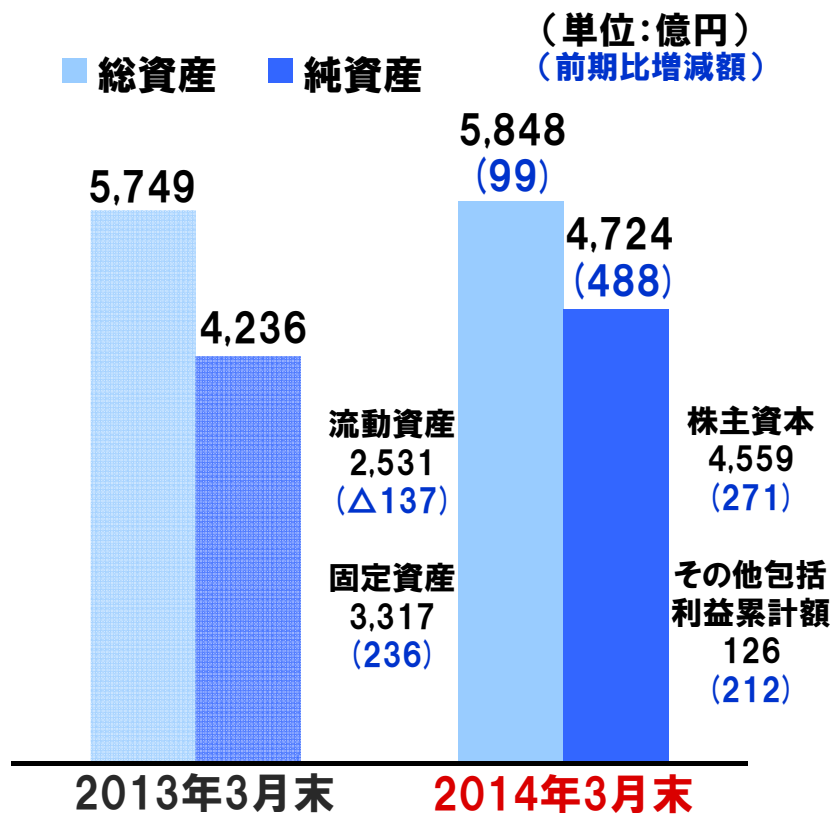
注：表記は億円未満を四捨五入

注：当期より訴訟関連費用を営業外費用として計上、当該表示方法の変更を前年度の実績表示に反映

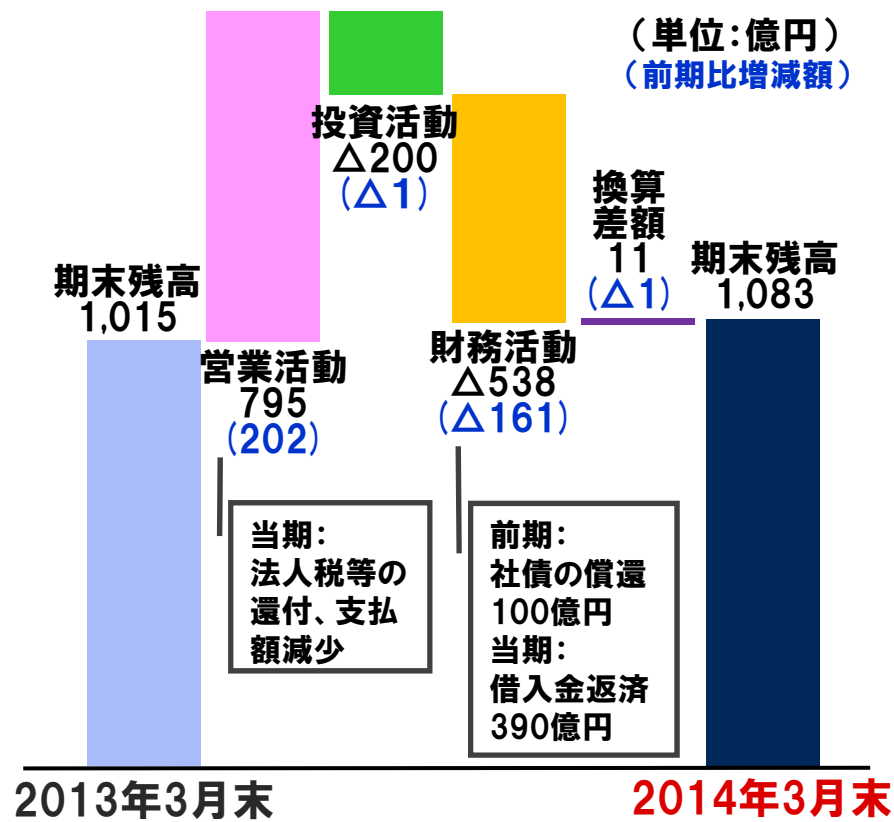
為替レート(期中平均)	2013年度前提	2013年度実績	2012年度実績	対前年比較
ドル	95円	100.18円	82.95円	17.23円安
ユーロ	120円	134.23円	106.83円	27.40円安

# 財政状態およびキャッシュ・フローの状況（連結）

## ◆ 財政状態



## ◆ キャッシュ・フローの状況



	2013年3月末	2014年3月末
自己資本比率	73.1%	80.1%

## 事業別・製商品別売上高（連結）



（単位：億円）

	2013年度		対予想		2012年度	対前年	
	予想	実績	達成率 (%)	差異	実績	UP率 (%)	増減額
国内医療用医薬品	1,684	1,683	99.9	△1	1,657	1.5	26
戦略3品目 合計	664	663	99.9	△1	585	13.4	78
戦略8品目 合計	929	929	100.0	△0	842	10.3	87
海外子会社 / 輸出	331	340	102.8	9	※ 306	11.1	34
シオノギ Inc.	207	214	103.3	7	170	26.0	44
Osphena	55	11	20.0	△44	-	-	11
C&O	60	59	97.9	△1	58	1.0	1
製造受託	87	84	96.3	△3	73	15.5	11
一般用医薬品	47	45	96.1	△2	52	△12.6	△7
診断薬	19	20	105.7	1	22	△9.0	△2
ロイヤリティー収入	660	707	107.1	47	698	1.2	9
クレストール	630	657	104.2	27	630	4.3	27
その他	20	18	90.2	△2	21	△12.7	△3
合計	2,848	2,897	101.7	49	2,829	2.4	68

戦略8品目：クレストール、イルベタン類、サインバルタ（以上、戦略3品目）、オキシコンチン類、フィニボックス、ディフェリン、ピレスパ、ラピアクタ

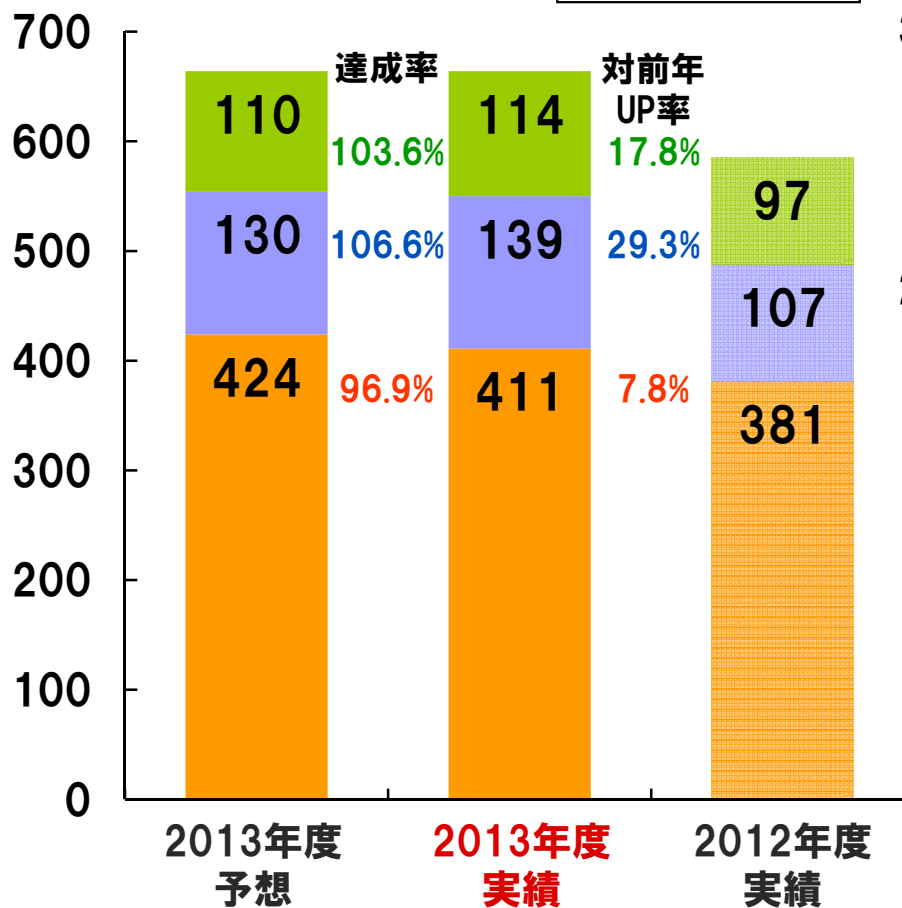
# 国内：戦略品目売上高



(単位：億円)

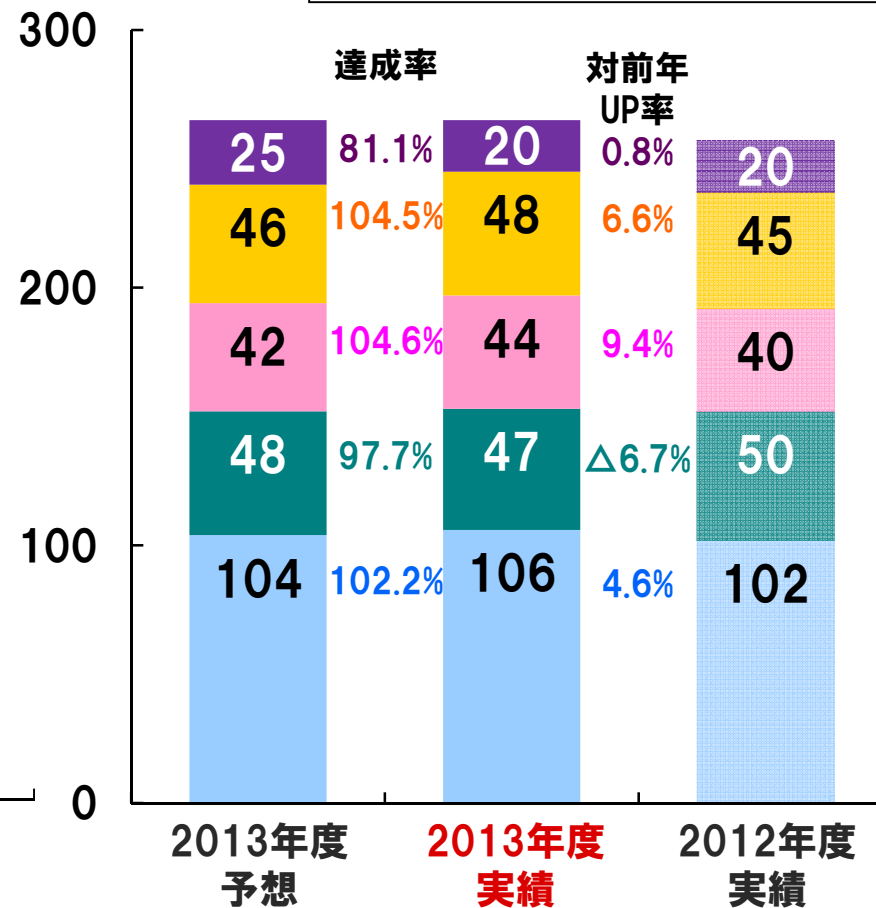
## ◆ 3品目

- サインバルタ
- イルベタン類
- クレストール



## ◆ 5品目

- ラピアクタ
- フィニボックス
- ピレスパ
- オキシコンチン類
- ディフェリン



2013年度 決算

## 損益計算書(連結)



(単位:億円)

	2013年度		対予想		2012年度	対前年	
	予想	実績	達成率(%)	差異	実績	UP率(%)	増減額
売上高	2,848	2,897	101.7	49	2,829	2.4	68
(ロイヤリティー収入)	660	707	107.1	47	698	1.2	9
	27.3 (35.6)	26.9 (35.6)			27.8 (36.9)		
売上原価	778	780	100.2	2	786	△0.7	△6
売上総利益	2,070	2,117	102.3	47	2,043	3.6	74
販売費・ 一般管理費	50.9 1,450	51.1 1,482	102.2	32	51.2 1,448	2.4	34
販売・管理費	920	962	104.6	42	917	4.9	45
研究開発費	530	519	98.0	△11	530	△2.1	△11
営業利益	21.8 620	21.9 636	102.5	16	21.1 596	6.7	40
(ロイヤリティー除く)	△40	△71	-	△31	△103	-	32
営業外収支	L10	P4	-	14	L6	-	10
経常利益	21.4 610	22.1 639	104.8	29	20.8 589	8.5	50
特別損益	P43	P10	22.4	△33	L6	-	16
税引前利益	653	649	99.3	△4	583	11.3	66
法人税等	223	230	-	7	△84	-	314
当期純利益	430	418	97.3	△12	667	△37.3	△249

注: ( )内はロイヤリティー収入を除外した売上高に対する売上原価の割合

## 2013年度における事業活動の変遷（上期）

**期初：営業利益600億円をミニマム目標としてスタート**

- ◆ **上期における取り組み（クレストールクリフを見据えた体質改善）**
  - グループ全体で固定的な費用の見直しを行い、Osphenaの発売に伴う大幅な費用配分の変更に対応
  - 国内営業の行動改革と生産性向上
  - 新設したグローバルSCM（サプライチェーンマネジメント）本部が中心となり、原価低減に向けたこれまでの取り組みを強化

**上期：過去最高益を達成（営業利益45億円の過達）**

- 国内事業を中心に、グループ全体でのコスト管理を実現
  - 販売費・一般管理費の削減とともに、原価も計画比で大幅に改善（期初計画に対して：販売費・一般管理費△20億円、原価△18億円）
- ロイヤリティー収入が期初の計画に対して24億円の大幅な過達



# 2013年度下期における事業活動の大きな変化

## 事業環境の大きな変化

クレストール  
ロイヤリティー受取の  
契約交渉が最終段階  
へ移行

- “クレストールクリフ”が、“クレストールヒル”として2014年度に前倒し
- 仲裁手続きの取り下げに伴う一時的な収入

ドルテグラビルの  
順調な立ち上がり

2014年度以降を見据えた攻めのステージ

## 2013年度における事業活動の変遷（下期）

### 下期：アクションプランの追加を決意

◆ 経営体質の改善に加え、上期に過達した利益（45億円）を活用して、2014年度以降の成長を確実にする取り組みを推進

- 特に国内販売において、成長の鍵となる活動・製品に対して積極的に先行投資（販売・管理費+42億円）

＜内訳＞

国内営業：30億円

ドリペネム関連費用：5億円

円安による費用増：7億円

- グローバルSCM本部主導でたな卸資産を圧縮（一時的に原価率は悪化）

＜内訳＞

国内：20億円減



**通期：営業利益636億円（過去最高益、期初予想+36億円）**  
**経常利益639億円（過去最高益、期初予想+49億円）**

**特別損益：P10億円（上期 P43億円、下期 L33億円）**

◆ **特別利益：P48億円**

- 投資有価証券売却益：P6億円
- 固定資産売却益：P42億円 ……日本橋本町ビル売却など

◆ **特別損失：L38億円**

- 減損損失：L9億円 ……有形固定資産
- 事業構造改善費用：L8億円 ……Naprelan売却に伴う構造改革費用
- その他、固定資産処分損(L5億円)、たな卸資産評価損(L5億円)など

**貸借対照表の健全化に向けた取り組みを実行**

# 2014年度 業績予想

（単位：億円）

	2014年度予想		2013年度 実績	対前年	
	通期	上期		UP率 (%)	増減
売上高	2,690	1,300	2,897	△7.2	△207
営業利益	450	185	636	△29.2	△186
経常利益	500	240	639	△21.8	△139
当期純利益	330	160	418	△21.1	△88

注：表記は億円未満を四捨五入

為替レート(期中平均)	2014年度前提	2013年度実績
ドル	100円	100.18円
ユーロ	140円	134.23円

# 事業別・製商品別売上高（連結）

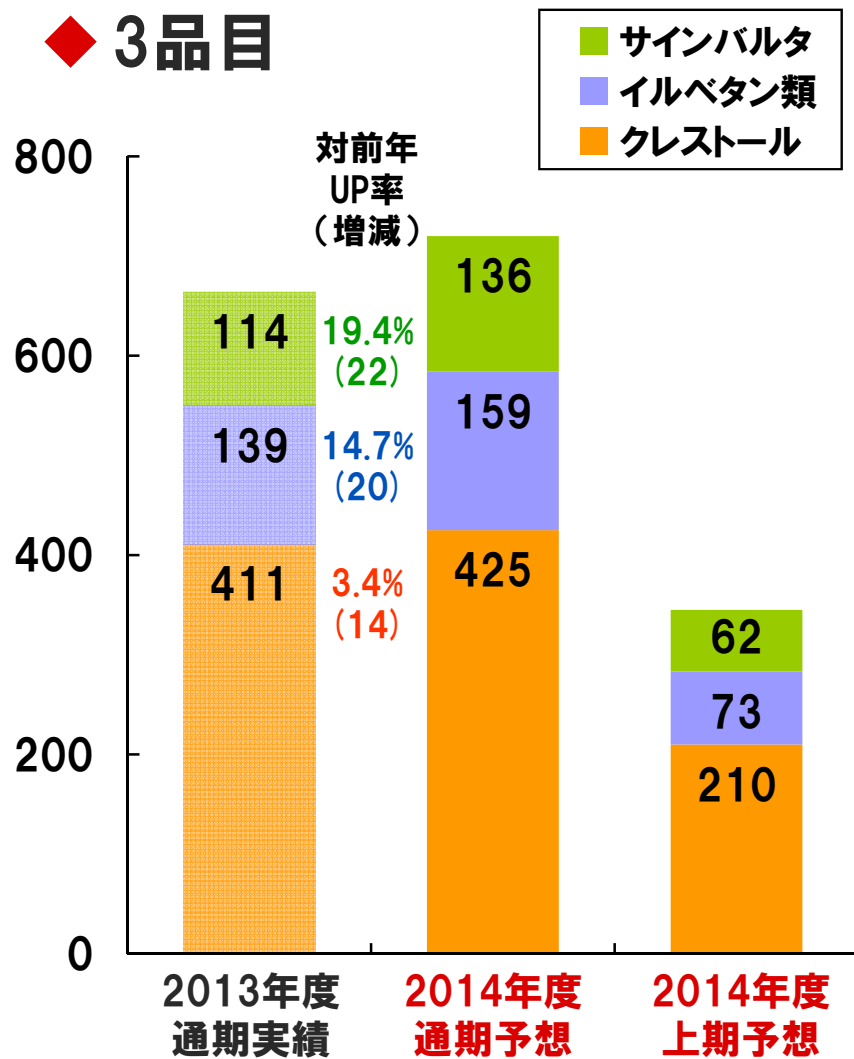
（単位：億円）

	2014年度予想		2013年度	対前年	
	通期	上期	実績	UP率(%)	増減額
国内医療用医薬品	1,670	805	1,683	△0.8	△13
戦略3品目 合計	720	345	663	8.5	57
戦略8品目 合計	1,000	473	929	7.6	71
海外子会社 / 輸出	313	150	340	△8.0	△27
シオノギ Inc.	177	79	214	△17.2	△37
Osphena	70	25	11	536.6	59
C&O	75	34	59	27.7	16
製造受託	114	48	84	36.1	30
一般用医薬品	46	24	45	1.9	1
ロイヤリティー収入	520	260	707	△26.4	△187
クレストール	475	242	657	△27.7	△182
その他	27	13	38	△29.2	△11
合計	2,690	1,300	2,897	△7.2	△207

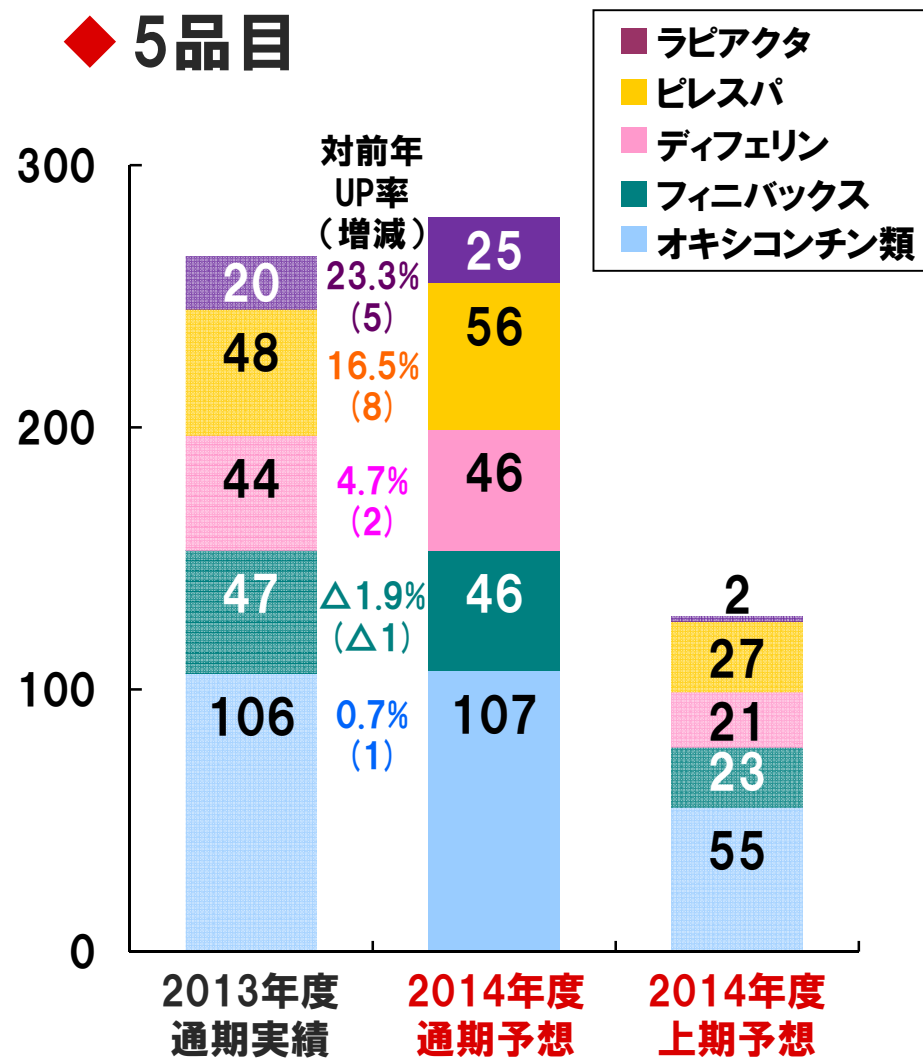
# 国内：戦略品目売上高

(単位：億円)

## ◆ 3品目



## ◆ 5品目



## 損益計算書(連結)



(単位:億円)

	2014年度予想		2013年度	対前年	
	通期	上期	実績	UP率(%)	増減額
売上高	2,690	1,300	2,897	△7.2	△207
(ロイヤリティー収入)	520	260	707	△26.4	△187
	29.4 (36.4)	29.2 (36.5)	26.9 (35.6)		
売上原価	790	380	780	1.3	10
売上総利益	1,900	920	2,117	△10.3	△217
販売費・一般管理費	53.9	56.5	51.1	△2.1	△32
販売・管理費	930	465	962	△3.4	△32
研究開発費	520	270	519	0.1	1
営業利益	16.7	14.2	21.9	△29.2	△186
(ロイヤリティー除く)	△70	△75	△71	-	1
営業外収支	P50	P55	P4	-	46
経常利益	18.6	18.5	22.1	△21.8	△139
	500	240	639		



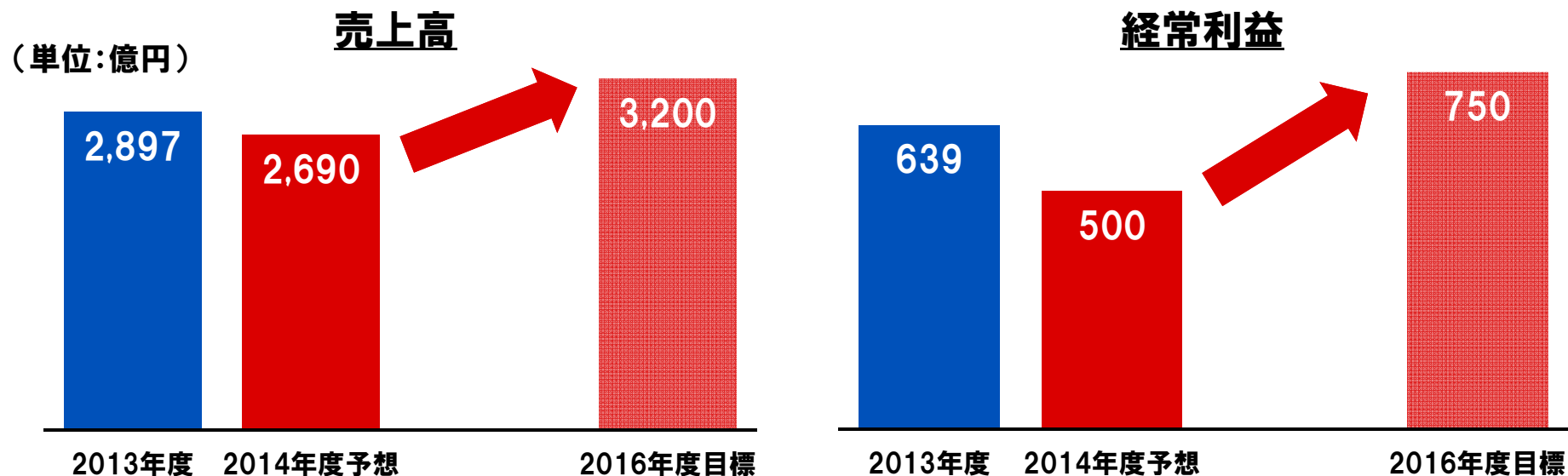
# 新中期経営計画SGS2020の実現に向けた決意

創薬型製薬企業として成長する

2020年度の目標  
売上高 5,000億円 経常利益 1,250億円  
研究開発費 1,000億円 ROE 15%

## ◆ SGS2020の目標必達に向けた2014年度ビジネスプランの立案

- 中長期的な成長を確固たるものにする Crest トレックの「前倒し」
- 2014年度はシオノギグループの「覚悟」と「変革」を見せるための重要な1年
- 定量目標の必達に加え、翌年以降の成長に向けた取り組みを「可視化」



# 配当金について

	1株当たり配当金		
	中間	期末	年間
2012年度	円 銭 20.00	円 銭 22.00	円 銭 42.00
2013年度	22.00	(予定) 24.00	(予定) 46.00
2014年度	(予定) 24.00	(予定) 24.00	(予定) 48.00

## ◆ 今後の配当方針について

- 2013年度末より、従来の配当性向(40%目標)から株主資本配当率(DOE)に変更
- 自己株式の取得も含め、成長を共に実感いただける株主還元施策を推進
- 2013年度は期末配当を2円引き上げ、1株当たり46円を予定
- 2014年度の配当は、1株当たり48円を予定

# 将来の見通しに関する注意事項

- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論・結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。  
リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保険関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 承認済みの製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項により、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 本資料には、医薬品(開発中の製品を含む)に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- 本資料は国内外を問わず、投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。
- 本資料の利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。